

ご案内

メディカルダイエット外来



一宮西病院
内分秘内科 部長
伏見 宣俊

当院は日本肥満学会が認定する肥満症専門病院として稼動しており、内科的アプローチによる減量を目指しています。従来の食事、運動療法では十分な減量が困難であった方に対して、内視鏡的胃内バルーン留置術が実施可能です。お気軽にご相談ください。

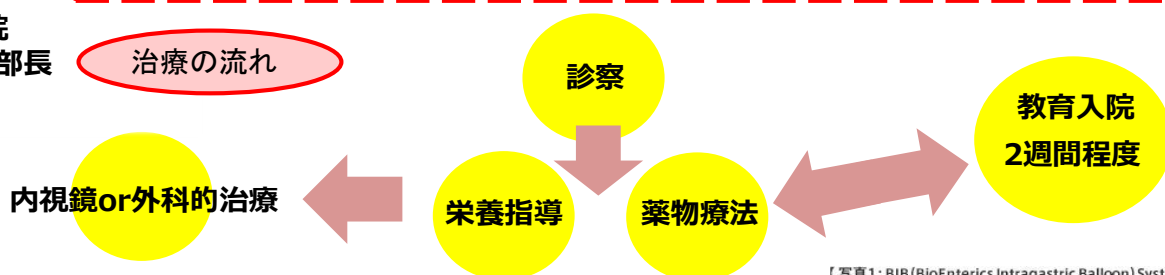
対象患者様

BMI30kg/m²以上

※BMI(ボディマス・インデックス)とは身長と体重から計算される、肥満度を表す数値です。

BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))

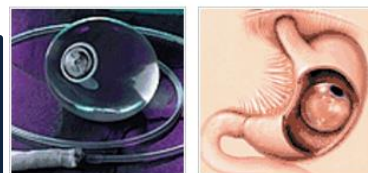
治療の流れ



内視鏡的胃内バルーン留置術 ※保険適応外

内視鏡的胃内バルーン留置術とは、胃内に風船(バルーン：約500ml)を入れ、食べ物が入るすき間を減らして多くを食われなくする治療です(写真1)。留置方法は内視鏡(胃カメラ)で観察しながら行います。先端にバルーンが収納された専用カテーテルを用いてバルーンを留置し、生理食塩水を注入して拡張していきます(写真2)。最大6ヶ月の胃内の留置が可能です。2012年の我が国のアンケート結果からは、平均減量は-10kg、逆流性食道炎などの留置中の合併症は5.1%で高い安全性と効果を示しています。入院期間は3日から1週間程度(個人差があり)です。退院後、通常の日常動作は可能です。退院後は1~2ヶ月に1回程度の診察を行います。

【写真1: BIB (BioEnterics Intragastric Balloon) System】



【写真2: 実際の内視鏡写真】

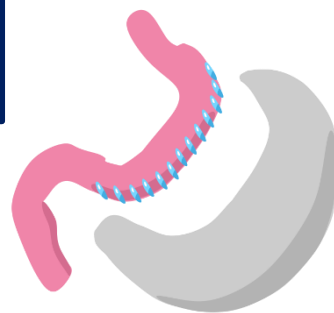


専用チューブの挿入

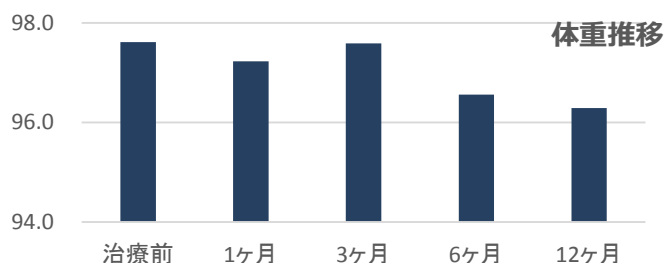
拡張したバルーン

スリーブ胃切除術 ※保険適用範囲内で実施可能です

スリーブ胃切除術は、大きな湾曲に沿って胃の大部分を外科的に除去することにより、胃を元のサイズの約15%に縮小する外科的減量術です。その結果、スリーブまたはチューブのような構造になります。この処置により、胃のサイズが永久的に小さくなりますが、後になってから胃がある程度拡張する可能性があります。



メディカルダイエット外来受診患者様



※30~70代患者様を無作為に選出したグラフとなります。

メディカルダイエット外来担当表 2020年5月~

完全予約制
初回受診時は
紹介状が必要になります。

外来担当表	月	火	水	木	金
14:00~ 15:00		伏見		澁谷	

患者様のご紹介・ご予約は... 一宮西病院 地域連携室 (平日 8:00~19:00 土曜 8:00~12:00)

TEL: 0586-48-0022